

作者： 青木 清高

2011年 12月 07日(水曜日) 12:26 - 最終更新 2011年 12月 07日(水曜日) 12:25

---

先月29日、銀座和光ホールでの、有田からの新しい風展が終了しました。御高覧いただきました多くの方々に心より御礼申し上げます。

今回の三人展の重要な切り口は、タイトル通り現在の有田の新しい作家の紹介というところにありました。

それぞれ表現方法が違う日展系の作家3人の個性がぶつかり合って、連日多くの方に来場いただきました。特にギャラリートークの日には100名を超える方々の入場があり、お客様の焼き物文化に対する関心の深さに感銘を受けました。「こんな仕事も有田にあったのですか？」というお客様の反応にもまた驚いたところです。有田のほんの一部の作家の展覧会でしたが、みなさんには、とても新鮮に映ったことに、まだまだ多くの作家を抱える有田という街に無限の可能性を感じることができました。

日展の先輩の先生方、美術館の関係の方々より、齒に衣を着せないご助言をいただき、久しぶりに、コブだらけで帰ってきたことも今回の三人展の大きな成果でした。新しい風というタイトル通り、まだ、自分を振り返ることのできる3人がそれぞれ大きな仕事を成し遂げたと思っています。

作者： 青木 清高

2011年 12月 07日(水曜日) 12:26 - 最終更新 2011年 12月 07日(水曜日) 12:25

---



■写真説明 今回出品した左から辻聡彦氏、青木清高、田中忍氏

作者： 青木 清高

2011年 12月 07日(水曜日) 12:26 - 最終更新 2011年 12月 07日(水曜日) 12:25

---



■和光さんのウインドディスプレイ、3人の作品が並ぶ (辻聡彦氏撮影)

作者： 青木 清高

2011年 12月 07日(水曜日) 12:26 - 最終更新 2011年 12月 07日(水曜日) 12:25

---



■夕暮れ日が落ちた銀座風景 (辻聡彦氏撮影)